

## 平成30年度第3回理事会会議録

日時 平成30年11月8日(木) 19:00～20:40  
場所 鹿児島女子高等学校セミナーハウス  
出席 末永、隈本、中原、木佐貫、鮫島、中曲瀬、源川(米澤代理)、濱田浩、鶴留、力久、伊藤、小園、濱田久、原田、山元、福寄、土器屋、尾前  
委任 上大田、諸岡、西谷

### 議題

#### 1 経過報告

##### (1) 県民体育大会

鶴留理事より報告があった。テーブルオフィシャルでの高校生の協力等もあり、無事終了した。

##### (2) 福井国体

中曲瀬理事より報告があった。九州ブロックで成年女子、少年女子は敗退。成年女子は予選で敗れた熊本が本国体で優勝している。ブロック予選を勝ち上がり本国体に出場した成年男子は、初戦を勝ち16年ぶりの得点を挙げた。ストレート出場だった少年男子は、初戦で奈良に惜敗した。また、鹿児島国体に向けた各種別の強化の見通しについての説明があった。

##### (3) ウィンターカップ県予選

伊藤理事より報告があった。インターハイを見据え、2週にわたっての開催、サンアリーナせんだいを使いセンターコートの設営、入場料の徴収等の新しい取組を行ったことについて説明があった。また、大会の収支の報告があった。

##### (4) 中学地区対抗

源川氏より報告があった。チームごとの場所の指定を行ったり、会場を分散したりしたことにより、例年見られる駐車場や、開場時の場所取り等の混雑が見られなかった。

#### 2 協議事項

##### (1) WJBLの開催について

木佐貫専務理事より、進捗状況について説明があった。役員等での協力、ポスターの掲示について依頼があった。チケットについては、今後各学校に案内を送付する。また、伊藤理事より12月16日県体育館会場の会場設営を15日に行うことへの協力依頼があった。

##### (2) 0-40, 0-50 全国大会について

隈本常務理事より、現段階の準備状況について報告があった。高校生等の協力があり助かっているが、社会人を中心に今後役員をさらに増やし、運営をしていく予定である。今大会は初の全日本社会人オーバーエージ大会となる。鹿児島からも開催地代表としてチームが出場する。

原田理事より、この大会を利用してテーブルオフィシャル、審判の研修を行う予定であることが報告された。

木佐貫専務理事より、インターハイ、国体に向けての各研修に向けての補助を行うに当たり、各部署で精査した上で担当理事を通して話を進めて欲しい旨の要請があった。

##### (3) 各種企業との連携について

木佐貫専務理事より、ユニフォーム等協会予算を使って作成する案件については、入札を経て依頼する企業を決定することについて提案があり、承認された。

##### (4) 全国障害者スポーツ大会について

山元氏より、第20回全国障害者スポーツ大会について、大会日程・会場、出場チーム数、リハーサル大会、今後の役員養成の見通し等の説明が行われた。

鮫島理事より、九州大会の主催・主管についてと、予算の執行状況について質問があった。また、県協会一丸となって大会成功に向けて各理事が意識を高めていくよう提案があった。

(5) その他

ア 小園理事より、インターハイに向けて、緊急の会議等、予算が必要になる事案がある。そのような場合の、県協会への更なる協力依頼があった。

イ 尾前理事より、鹿児島レブナイズの今後の大会日程の連絡と、チームへの協力依頼が行われた。また、会長より、各理事で観客動員についての協力依頼が行われた。

ウ 中曲瀬理事より、3月に行っているバスケットボールサミットについて、少年男女の強化という観点から考えると、3月実施が難しい。今後、どの時期が適切か

エ 原田理事より、審判の審査があり原田氏がS級に昇格したことが報告された。

オ 末永会長より、インターハイ・国体・全国障害者スポーツ大会の運営・強化は両輪であるのでしっかり取り組んで欲しい、事業についての反省を出し、次回に生かすこと、案件については、各理事を通して専務理事に伝えておくようにすることについての要望があった。